

# 生物生産学科

## 1. 教育研究上の目的

本学科は、多様な陸圏領域の教育・研究が実践できるように配置した植物系、動物系、資源・環境系の分野において、新しい生物資源の開発や多様な環境に配慮した生物生産力の拡大、生物資源機能の新しい応用等にかかわる理論と技術を教育研究し、国際的な視点で地域産業の発展に貢献できる人材を養成する。

## 2. 教育目標

生物生産学科は、その人材養成目的を踏まえ、次のような者の養成を教育目標とする。

- (1) 陸圏領域における生物生産科学についての深い探求心を有する者
- (2) 生物生産に係わる課題を主体的に解決する力を有する者
- (3) 生物生産に関する専門的知識のみを有するのではなく、市民社会との連携を取ることのできる者

## 3. ディプロマ・ポリシー

生物生産学科は、北海道の生産現場、森林や湿原などの自然環境下で、高緯度農業地帯における食料生産や自然環境との共生について体験による学びを通じ、「幅広い視点」から多様な環境に配慮し対応し得る基礎的な知識と技術を身につけた人材を輩出するため、実学を重視した体系的な授業科目を履修・修得し、卒業論文を提出することを学位授与の要件とするとともに、以下の能力を備えた学生に学位を授与します。

- (1) 生物産業に貢献し得る生物生産のための基礎的な知識と技術を有し、それを応用する能力を身につけている。
- (2) 生物資源あるいは自然環境について、生物種や自然環境の保全・管理に関する基礎的な知識と技術を有し、それを応用する能力を身につけている。
- (3) 生物生産や生態系保全に関する知見に基づき、地域や国際的な視点から俯瞰し、総合的に判断する能力を身につけている。
- (4) 自ら生物生産や生態系保全に関する課題を見出し、その課題解決へ向けて計画的に活動し、他者に自身の考えを伝えるためのプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を身につけている。

## 4. カリキュラム・ポリシー

生物生産学科は、生物産業（生産-加工-流通・ビジネス）を一貫して学ぶための学部共通科目とともに、実学を重視した専門教育科目の体系的な履修を通して、ディプロマ・ポリシーに掲げた能力を身につけるため、以下の方針の下に教育課程を編成します。

- (1) 生物生産及び生態系保全に関わる知識を得ることを目的に、「幅広い視点」を醸成するための生物生産および人文・社会科学の領域を含む基礎科目を配当するとともに、生物生産にかかわるより専門的な知見が得られる専門科目を配当する。
- (2) 生物資源が豊富な生物産業学部の立地条件を活かし、地域の生物資源や環境資源を取り入れた基礎から応用までの実験、実習および演習科目を配当する。
- (3) 生物生産や生態系保全についての課題解決につながる国内外の情報を整理し、総合的に判断できる科目を配当する。
- (4) 自ら得た課題解決の知見を他者に伝えるためのプレゼンテーションスキルを学ぶ科目を配当する。

## 5. アドミッション・ポリシー

生物生産学科は、生物産業（生産-加工-流通・ビジネス）と自然環境の共生という学部共通の学びを基盤とし、生物資源や自然資源が豊富なオホーツク圏において、食糧資源の生産と管理、生態系の保全、生物資源の機能などに興味を持ち、21世紀型の持続的循環社会に必要な自然と調和した食料生産や自然資源の保全に貢献できる意欲的な人材を養成します。そのため、本学科では、次のような学生を求めています。

- (1) 広い視野で地域や社会に貢献する意志を持ち、明確な問題意識と問題解決に対する強い意欲を有している。
- (2) 心身ともに充実しており、地域や場所を問わず積極的に生物生産学を学ぶ力を有している。
- (3) 実験や実習等を通じ、仲間や地域の人々との調和を大切にし、協働する姿勢と自分の考えを他者に伝えるコミュニケーション能力を有している。
- (4) 生物生産を学ぶ上で必要な「英語」、「国語」、「数学」、「生物」および「化学」の基礎学力を修得している。